

【学習名】

司会をしよう

【利用アプリケーション等】

• Droptap

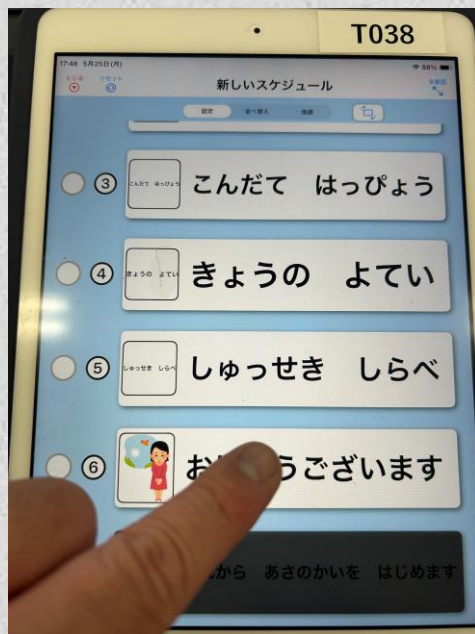
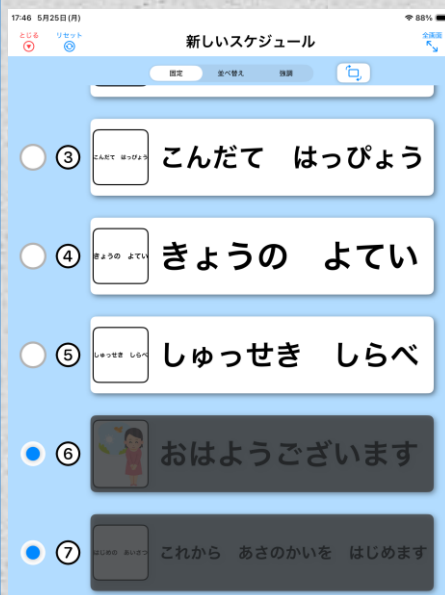


自立活動

【目的・対象児童の特性】

代替コミュニケーション手段として用いる、言葉での表現が困難な児童生徒への支援

操作画面の写真



特徴

- 言葉での表現が困難な生徒が、画面をタップすることで、言葉によるコミュニケーションが可能となる。
- スケジュールボード機能を使用することで、「次は何をするか」の見通しが縦または横の並びで一目でわかる。
- 終わった項目のチェックマークをタップして画面を暗く（終了表示に）しながら、上から順番（下から順番も可）にタップして音声を出力。

使い方

- (1) プログラムの決定
会の式次第を決める。（朝の会や帰りの会等）
- (2) シンボルと音声の割り当て
編集メニューの「新規作成」からイラスト、写真を選び、司会のセリフテキストを入力する。
- (3) 実際にボタンをタップしながら、会を進行する。